

令和8年第3回明和町議会定例会一般質問事項

令和8年9月3日

1 9番 齋藤 一夫 議員

1. 樹木管理について

近年の猛暑等の環境悪化やクビアカ等の病害虫により樹木への悪影響が懸念される。樹木の管理を適切に行う事により、樹木の延命や危険樹木の伐採等の適切な対応が重要であると考え。現状の管理状況と今後の対応は。

- (1) 街路樹の点検管理の状況はどのようになっているのか。
- (2) 公園等の樹木の点検管理の状況はどのようになっているのか。
- (3) 小中学校やこども園の樹木の点検管理の状況はどのようになっているのか。

2. AIについて

近年AIや生成AIの進歩により、社会生活において重要な役割を持つ時代となってきたが、学校教育におけるAIの利用等に関する指導状況は。また、AIが更に重要な役割を持つようになると思うが町の考えは。

- (1) 小中学校におけるAI教育の状況はどのようになっているのか。
- (2) 家庭学習等におけるAIの活用状況はどのような状況か。

2 11番 奥澤 貞雄 議員

1. 英語教育の強化について

今日、グローバル化が進み、多くのインバウンドが日本を訪れる現状を考慮すると、英語教育の強化は必須と考え、町の方針を伺う。

- (1) ALTに関わる予算、人数及び活動状況はどのようになっているのか。
- (2) 小学1年生、2年生は、英語教育対象ではないが、町での教育指導・交流プログラムはあるのか。
- (3) 小学1年生、2年生にも、英語の授業をカリキュラムとして取り入れ、強化すべきであるが、町の方針は。
- (4) 自治体によっては、小学1年生、2年生に完全に英語教育をカリキュラム化する為に、総合的に時間調整をして授業時間を捻出しているが、町でも可能であるか伺う。
- (5) 英語教育の施策が、移住・定住にも関係してきている自治体がある。今後、英語教育充実の為に、ALTの数を増やせないか、町の見解を伺う。

2. 奨学金制度の充実について

諸物価が急騰している今日、大学生を持つ家庭の負担は増すばかりである。町の奨学金制度強化策を問う。

- (1) 今現在の町の奨学金制度及び、利用状況、また、課題事項について伺う。
- (2) 給付型奨学金制度の導入について、町の見解を伺う。

- (3) 町は、学生支援策をMターン等、人口流出の歯止めに、また、オールインワンのまちづくりの理念からも、一施策として活かして行くべきであるが、町の方針を伺う。

3 3番 三浦 次弘 議員

1. 蓄光テープの活用について

地震や風水被害による停電時において、電源を必要としない蓄光テープの活用が有効と考える。本町の公共施設や避難所における階段・段差・避難所通路への蓄光テープの現状と課題について伺う。

- (1) 停電時における避難誘導について、どのような対策を講じているか。
- (2) 停電時には、特に高齢者や子どもにとって避難所内の通路の視認性が低下する課題があると考えているが、町の認識は。
- (3) 暗闇でも視認可能な蓄光テープを、避難所や公共施設の床面、階段、出入口に設置することは有効と考えるが、町の見解は。
- (4) まずは避難所となる学校や公民館などで、モデル的に導入する考えは。

2. 防災倉庫に係る水害対策について

近年の豪雨災害の激甚化を踏まえ、本町に設置されている防災倉庫の一部が1階にある現状については、水害時における浸水リスクが懸念される。特に備蓄物質の流出や使用不可となる可能性がある。

- (1) 本町の防災倉庫の一部が1階に設置されているが、水害時には浸水リスクが高く備蓄物質が使用できなくなる懸念がある。現状のリスク認識について伺う。
- (2) 浸水想定区域にある防災倉庫について、具体的な対策は講じられているか。
- (3) 防災倉庫の2階以上への移設や新設についての考えを伺う。
- (4) 水害時の代替供給体制は、どのように確保されているか。
- (5) 防災倉庫の配置見直しと水害対策について今後の方針を伺う。